

水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第18号

2023年11月20日

子供たちの健やかな成長を願う家庭の応援団として！

家庭教育支援の一環として、県では家庭教育推進員及び担当者、訪問型家庭教育支援員の研修を計画的に実施し家庭への支援の充実を図っています。

水戸教育事務所管内では、笠間市の郡司崇人社会教育主事が笠間市立みなみ学園義務教育学校の保護者を対象に、就学時健康診断の時間を活用した家庭教育学級を開催し、家庭教育推進員等の関係者が研修として参観しました。参観した家庭教育学級は、主に人間関係づくりをテーマとした研修でした。最初は、ぎごちなかった保護者同士の会話にも時間がたつにつれ笑顔が見られるようになり、新たな人間関係をつくる上でも非常に効果的なものでした。これらの研修が、各市町村の家庭教育の推進に少しでも役立つことを願っています。

また、小美玉市の三澤秀生社会教育主事は、県の研修会で訪問型家庭教育支援員も巻き込んだ家庭教育学級の実践発表を行いました。訪問型の支援員が家庭教育にも携わる小美玉市の実践は、今後さらに、家庭教育支援の輪が広がっていく可能性が感じられるものでした。

各学校においては、学校と家庭が手を取り合って子どもの成長を見守れるようにするためにも、家庭教育学級や家庭教育支援の機会を有効にご活用ください。

家庭はすべての教育の出発点



笠間市の家庭教育学級



小美玉市の実践発表・研究協議



春夏冬話(あきない話)

南の島でも物価高



新型コロナが5類に変わり、多くの規制が緩和された夏休み、みなさんも家族サービスやリフレッシュを兼ねて国内、海外旅行に出かけられたことを耳にします。私自身も現役を退いた後、コロナ明けには是非とも海外旅行を考えていました。そしてこの夏、やっと実現することができました。

久しぶり(数十年ぶり)に訪れた南の島は、暑さの中でも涼しい風が吹き抜け、爽やかなリゾート地独特の雰囲気でした。日々、期待に違わぬ時間を過ごすことができました。しかし、海外の物価の高さと円安の現状も身をもって知らされました。

早起きして海岸や公園に朝の散歩に出かけ、1時間ほど歩いてのどが渇き、某ストアで缶ジュースを買って「2ドル」「2」という数字に抵抗感なく支払いを済ませますが、「あれ？1ドル日本円で150円だと2ドルということは、缶ジュース1本が300円」「日本で買ったなら120円前後」その差に驚きました。というわけで、ジュースだけでなく全てが高いということで、買い物ひとつするのも財布の中身と相談でした。しかし、色々ありましたが、非日常を味わう素晴らしい数日間でした。

最後に、帰りの空港はとっても心が寂しいです……。 (by K・H)

